

# 総合デザイン学科 3つのポリシー

## ○ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

総合デザイン学科では、産業技術学部のポリシーに沿って開設された教養教育系科目および専門教育系科目を履修して所定の単位を修得し、幅広く豊かな教養と、以下に示すデザイン学に関する知識と技術を身に付けた者にデザイン学の学位を授与します。

[修得すべき学修目標]

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力

これらの能力に対する修得の認定は、以下の内容により評価します。

1. デザインの基礎知識を身につけ、問題を発見し、解決するための論理的思考力
2. 自ら設定したテーマに対し、オリジナリティのある発想を行い、美しさと新規性を備えたデザインを具現化する能力
3. 最適な表現手段を用いて、魅力的にわかりやすいプレゼンテーションを行う表現力、発信力

## ○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合デザイン学科では、環境デザイン学領域、製品デザイン学領域、視覚伝達デザイン学領域の3領域編成によって、デザインに対する総合的で幅広い視野を持ち、デザイン学によって社会に参画・貢献できる人材を養成する教育課程を編成・実施します。

[教育内容]

1. 1年次ではデザインの基礎論を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学修します。4年間を通じてデザインの理論・知識を学修します。
2. 1年次ではデザインの素養を幅広く身に付けるためにデザイン基礎論・演習を通じて3領域すべてのデザインを体験します。2～4年次ではそれぞれの専門領域に分かれ、テーマに応じた演習科目を複数経験し、美的な感覚を身につけます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。4年間を通じてデザインプロセス、コラボレーション、オリジナリティについて実践的な創造活動を行います。
3. 1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表

現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身につけます。4年次ではデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身につけます。

#### [学修成果の評価]

学修成果は、基本的な知識の修得状況に加え、それぞれの課題における思考過程および成果物から思考力・提案力・創造力・表現力・発信力を総合的に評価します。また、少人数教育の強みを活かした双方向のアクティブラーニングによる演習によって、問題解決のための応用力、プレゼンテーション能力、論理的な説明能力の向上に重点をおいた教育を実施します。

### ○アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

総合デザイン学科は、環境デザイン、製品デザイン、視覚伝達デザインに関する分野を学ぶ学科であり、次のような人を求めています。

1. 大学での学修に必要な基礎学力を有している人
2. デザイン学に関連した知識・技術に興味を持ち、積極的に学修に取り組む意欲を持っている人
3. デザインやクリエイティブ活動を通じて社会に貢献しようという目的意識を持っている人

#### [入学者選抜方針]

本学産業技術学部の入学者選抜は、一般入試と特別入試（推薦入試，社会人入試）により行います。

#### 個別学力検査等（前期日程）

国語と外国語の基礎学力に加えて、デザインに関する能力及びデザインに関する関心と学修意欲を総合的に評価し、選抜します。

#### 推薦入試

高等学校における学修状況や課外活動への取り組みとともに、デザイン学を学ぶための基礎力、デザイン学への関心や新しい知識・技術に挑戦する意欲等を総合的に評価し、選抜します。

#### 社会人入試

社会人として得た実績や経験を基盤として、新しい知識・技術に挑戦する意欲、情報科学を学ぶための基礎学力等を総合的に評価し、選抜します。

#### [入学までに身に付けて欲しいこと]

- ・デザイン系の学修に必要な高等学校課程の基礎学力
- ・協調性，コミュニケーション能力および情報保障に対応できる力